

## 第 33 回臨床薬理阿蘇九重カンファレンスプログラム

臨床薬理阿蘇九重カンファレンス  
本年度会長 家入 一郎  
(九州大学大学院薬学研究院・薬物動態学分野)

### メインテーマ 「医薬品開発を支える教育と技術」

場 所 : KKR ホテル博多  
(〒810-0022 福岡市中央区薬院 4-21-1)  
TEL 092-521-1361, FAX 092-521-4881  
URL <http://www.kkr-hakata.com/>

第1日目 8月2日 (土) 14:00～

14:00～14:10 開会の挨拶

家入 一郎 (九州大学大学院薬学研究院・薬物動態学分野)

#### シンポジウム 1

##### I. 薬学部における医薬品開発教育(TR、治験、知財)の必要性とその方法

講演 1. 14:10～14:35

承認審査担当者としての経験から  
児玉 庸夫 (城西国際大学、教授)

講演 2. 14:35～15:00

薬剤部・臨床現場の立場から  
政田 幹夫 (福井大学病院薬剤部長、教授)

講演 3. 15:00～15:25

新薬開発におけるアカデミアの新しい役割  
内山 麻希子 (九州大学病院 ARO 次世代医療センター、特任講師)

講演 4. 15:25～15:50

保険薬局 DI における審査情報の活用  
加藤 正久 (福岡市薬剤師会薬局)

15:50～16:05 休憩 (15分)

#### シンポジウム 2

##### II. 医薬品開発 (治験からその後の医薬品適正使用まで) における PPK/PD 解析の果たす役割

講演 1. 16:05～16:30

PK/PD モデリングを利用したアルツハイマー型認知症治療薬ソラネズマブの投与量  
設定  
植仲 和典 (Eli Lilly Japan)

講演 2. 16:30～16:55

骨粗鬆症治療薬の開発における PPK/PD 解析の適用

長谷川 千尋 (小野薬品工業)

講演 3. 16:55～17:20

PPK/PD シミュレーションデータの活用

三好 聡 (ファイザー)

講演 4. 17:20～17:45

PPK/PD の世界動向

谷河 賞彦 (Bayer Pharm)

講演 5. 17:45～18:10

医薬品開発における PPK/PD 解析に望むもの

木島 慎一 (PMDA、新薬審査第二部)

19:00～21:00 懇親会

第 2 日目 8 月 3 日 (日) 9:30～12:00

III. 一般演題

11:40～11:50 第 34 回年会長挨拶

11:50～12:00 閉会の挨拶

家入 一郎 (九州大学大学院薬学研究院・薬物動態学分野)

本部事務局 (問い合わせ先)

九州大学大学院薬学研究院薬物動態学分野 廣田 豪

〒812-8582 福岡県福岡市東区馬出 3-1-1

TEL : 092-642-6658 FAX : 092-642-6660

E-mail : t-hirota@umin.ac.jp